



【1日の仕事の流れ】

8:30 出勤

申請書や関係書類の確認といった検査申請の受付を行います。その他メールチェックなど。

9:00 輸出入検査

輸出入検査。

曜日や時間によって忙しさが異なるため、空き時間で申請書整理などの事務作業をします。

12:00 昼休み

私は毎日おにぎり等を作って持っていきます。お弁当を注文できるので作らなくても大丈夫ですよ。

13:00 輸出入検査

午前引き続き検査を行います。

余裕がある時は、検査で発見された病害虫などを用いて標本作成や顕鏡を行い、同定技術の向上に努めています。

16:00 申請受付

新たな申請が入っていないか確認し、翌日の検査がスムーズに行えるよう準備します。

17:00 退庁

退庁が定時を過ぎることはほとんどありません。

① 現在はどのような仕事をされていますか？

福岡空港において航空貨物の申請受付・検査等を行っています。輸入ではアジアからのランや観葉植物の苗、コロンビア・マレーシアからの切花を、輸出では英国・ドイツ向け野菜、タイ・カンボジア向け生果実などの品目を主に取り扱っています。航空貨物は特に鮮度が重視されるため、丁寧・迅速・正確な検査・同定が要求されます。

② 大学で専攻したことがどのように活かされていますか？

研究で成分分析を行っていたので、ピペット等実験機器の取り扱いには役立っていると思います。私の専攻は昆虫学や植物病理学ではありませんでしたが、研修や日常業務の中で知識や技術を習得できますので、その点は安心していただいても大丈夫です。

③ どのような仕事が印象に残っていますか？

日常業務でいつも感じるのですが、検査の合格判定は大きな責任を伴う任務だと思います（まだ防疫官でない私が判定を行うことはありませんが）。病害虫の発見が国内への侵入を防いでいる一方、不合格となることで消毒や廃棄、返送にかかる労力や費用が、輸出入者の不利益となっていることを現場で目の当たりにするからです。だからこそ、病害虫の知識と合わせて、植物検疫の必要性や制度の背景をきちんと理解することを意識して、日々業務に励んでいます。

④ 国家公務員志望者へのメッセージをお願いします！

植物防疫所の業務内容は多岐にわたり、ここでしか経験できないことも多いです。このパンフレットに留まらず、ぜひ職場の雰囲気や職員の生の声を聴きに、説明会などにいらしてください！